

【令和2年度 校内研究について】

平戸市立大島中学校

1 研究の目的

- すべての生徒に確かな学力を定着させ、主体的に学ぶ力につける。
- 研修や授業研究を通して、日々の授業改善を図る。
- 研修を通して、自らの教養や指導力を向上させるとともに、教師の組織力の向上を図る。

2 研究主題（令和2年度・昨年度から継続）

『地域に根ざし、生きる力をはぐくむ教育の創造』

～自己実現をめざす個に応じた学習指導・支援の充実～

3 主題のとらえ方

本校ではこれまで地域に根ざした体験学習を通じて、豊かな感性や思いやりの心の育成に努め、研修を積み重ねてきた。また、学習指導要領で求められている、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を柱とする「生きる力」は、21世紀の知識基盤社会において重要性を増している。その際、我々が日々の実践を通してそれを作り上げていくことが何よりも大切である。

本校は、各学年とも複数担任制をとり入れることで、少人数学級の特性に見合った、一人ひとりの生徒に応じたきめ細かな学習指導を日々実践している。

4 主題設定の理由

本校の生徒は純朴で素直であり、何事にも協力的で労を惜しまない。しかし、幼い頃から小集団の中で育ち、互いに顔見知りで競い合う場面も少なく、自ら主体的に判断し行動する力が十分に身についているとは言えない。これまでの取組を通じて、人前で自分を表現する力は少しづつ身についており、今後も育成していきたい。また、確かな学力の定着や家庭学習の習慣等、個人差が大きく課題となっている。さらに将来の職業や生き方につながる「学び方」を身につけることの必要性も感じている。

(1) 学習指導要領より

学習指導要領においては、生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動が求められている。基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用するために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくむとともに、主体的に対話的な深い学びを実現する教育活動が求められている。

(2) 学校教育目標より

本校の学校教育目標は「思いやりと実践力を持つ人間性豊かな生徒の育成」である。中学校卒業後は島外の高校へ進学したり、就職をしたりすることになる。今後、島外で生活する機会が増えていく中で将来社会人として様々な時と場に対応できる実践的な力が試される。その際に必要な基礎的・基本的な学力を確実に習得させるとともに、自分に自信を持って自己を表現できる生徒を育てることが、本校の重要な課題と言える。

(3) 地域の願いより

本校の校訓は「郷土を愛し 明るく素直で たくましく」である。この校訓は、地域、保護者及び教職員の切なる願いを結集して設定されたものである。

高齢化が進み島内の人口減少が続いている今日、地域に生きることに喜びや誇りを持ち、郷土意識を高めて郷土への愛着を育てること、そして明るく他を謙虚に受け入れる広い度量を持ち、困難にめげることなく忍耐力やたくましさを身につけること、といった願いがこの校訓に込められている。また、地域のまとまりも強く「大島の子は大島で育てる」という土壌があり、これらの願いに真に耳を傾け、子どもたちの成長を図ることは本研究の土台をなすものと考える。

5 研究の仮説

- ・集団作りを通して、仲間同士で支え合う生徒を育成することで、自己実現をめざす生徒を育成することができるであろう。
- ・個に応じた学習指導・支援を行うことで、生徒に生きて働く知識・技能を習得させ、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力を育てることができるであろう。

6 研究の内容と方法

(1) 授業改善

- 個に応じた学習指導・支援を中心として、各教科で授業改善に取り組む。
- 1人1回は研究授業を行い、その後授業研究を必ず実施し、成果と課題を協議する。
(教科だけでなく、道徳、学活で実施してもよい)
- 学力向上プランの作成と実施の推進。(取り組みの検証)

(2) 学習環境づくり

- フォーサイトの活用
- 学習状況調査の実施
- 自主学習への取り組み
- 集団作りについての研修

(1) その他

- 各種研修会の伝達講習
- 市学力調査、県学力調査及び全国学力調査の分析
- Q-Uテストの考察と生徒理解の推進

| 名称 | 担当 | 主な取組 | |
|--------------------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------|--------------|
| 研究推進委員会 | 校長 教頭 教務 研究主任 各班チーフ | ○研究の全体計画の協議・推進 等 | |
| 学習指導推進班 (学力向上) | ○班長 (横田) メンバー (田尻・三根) | ○個に応じた学習支援の推進 ○研究授業の実施、研究協議の運営 ○学力向上プラン | |
| 学習環境推進班 (環境づくり) | ○班長 (中尾) メンバー (村井・河野・白石・柴山) | ○フォーサイトの活用 ○「みんなの願いをかなえる学びを目指して」作成 ○学習状況調査の実施 ○集団作りについての研修 | |
| 全体会 | 全職員 | ○現職教育研修 | ○各種学力調査結果の分析 |

7 研究組織

